

手元に、平

成六年度厚生

科学研究費工

業研究報告

HIV疫学研

究班報告書ともいう。

A M D A 国際医療情報

センターにおける外国人

からの医療相談のうち

の、エイズ関連相談のデ

ータも含まれている。日

本に居る外国人のエイズ

感染の実態に関しては、

ある特定の地域内に関する

報告は散見されるもの

の、全体像を把握

できるところな

広い地域にわた

ったデータとい

センターのものしかないからだ。このようにNGO活動は、行政やその他の機関が苦手とする領域では決定的に重要な情報を、提供しつるまでになっ

## NGOの責任

この事実には、具体的な活動内容を、一つ一つそのためには、具体的な学問的批判に十分耐えうるものとしてまとめあげ、広く公表していかねばならない。いろいろなNGOの活動報告書を見ると、往々にして感情論の先立つものが目立つ。まずは客観的に科学的に解析を行うことが大切、と言いたい。

統計学的に説明のつく分析を、言ってもよいかもしれない。それを省略すると、科学的に正しいデータ、説得力のある主張とは言えなくなる。

今までは批判や言い放題に終始しても存在意義があったと言えるNGOではあっても、今後はデータに基づく具体的な提言や代案を求められるようになるということだ。社会の一員として、いよいよNGOもその力量が問われようとしている。(小林 米幸=AMDA・アジア医師連絡協議会日本副代表)



握できるような  
活動の質的転換